



SUB 'N' UP MINI OCTAVER

TonePrint対応/コンパクト・オクターバー・ペダル

User Manual



Table of Contents

Important Safety Instructions	3
Legal Disclaimer	3
Limited warranty	3
1. About this Manual	4
2. Introduction	4
2.1 Unpacking	4
2.2 True Bypass	4
2.3 Setting up	4
3. Operation – Inputs, Outputs and Controls	5
3.1 Power / Computer connection	5
3.2 Switching	5
3.3 Audio in and out	5
3.4 Effect controls	5
4. Operation – TonePrint	6
4.1 What are TonePrints?	6
4.2 Transferring TonePrints to your pedal using the TonePrint app	6
4.3 Editing TonePrints with TonePrint Editor	6
4.4 Frequently Asked Questions about TonePrint pedals	6
4.5 TonePrint resources	7
5. Operation – Bypass Mode	7
5.1 True Bypass and Buffered Bypass explained	7
5.2 Switching between True Bypass and Buffered Bypass	7
6. Maintenance	7
6.1 Updating the firmware	7
6.2 Changing the battery	7
7. Links	8
8. Technical Specifications	8

重要- 安全のための注意事項

1. 注意事項をお読みください。
2. 注意事項の書類は手の届くところに保管しておいてください。
3. 全ての警告をお守りください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 本機器は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除には、乾いた布のみを使用してください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。
8. 製造者の指示に従って設置してください。ラジエーター、暖房送風口、ストーブをはじめ、熱を発生する機器(アンプを含む)の近くに設置しないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全性を確保するための構造です。無効にしないでください。有極プラグは、二本のブレードのうち、一方が幅広になっています。アース付きプラグは、二本のブレードと、一本のアース棒が付いています。幅広のブレードおよびアース棒は、使用者の安全を守るためのものです。製品に付属するプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードは、特に差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、人に踏まれたりはさまれたりしないように保護してください。
11. アクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、この装置用に販売されているもの、または製造者が指定するもののみを使用してください。カートを使用する場合は、機器を載せて移動する際に、機器の落下や怪我に注意してください。
13. 雷雨の発生中または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
14. 保守整備は、必ず資格を持ったサービス技師にご依頼ください。電源コードやプラグの損傷、機器に液体がかかったまたは異物が入り込んだ場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、機器を落とした場合など、機器が何らかの状態で損傷した場合には保守整備が必要です。



注意

本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する資格を失うことがあります

保守整備 (サービス)

保守整備は、必ず資格のある作業担当者が実施してください。

警告

火災や感電のリスクを軽減するために、機器を雨や湿気にさらさないでください。花瓶等液体の入ったものを機器の上に置かないでください。閉じられた空間に設置しないでください。

EMC / EMI

Electromagnetic compatibility /
Electromagnetic interference

本機器はFCC規準Part 15に準ずるClass Bデジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本機器は無線周波エネルギーを生成・使用しており、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波干渉を起こさないという保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本機器の電源を立ち下げてから再度立ち上げてください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で干渉の解消を試みることを推奨します。

- ▶ 受信アンテナの向き、設置場所を変更する
- ▶ 本機器と受信機の距離を遠ざける
- ▶ 本機器を受信機と別の系統の電源回路に接続する
- ▶ 販売代理店、または経験のある無線 / TVの技師に相談する

For customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

本Class Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

本書で使用する記号



三角形に括られた矢印付きの落雷マークは、接触すると感電の恐れがある、危険な高電圧の絶縁されていない部品が機器内部に配置されていることを示します。



三角形に括られた「!」サインは、機器を操作またはサービス作業を実施するうえで重要な指示が、製品に付属の書類に記載されていることを示します

1 このマニュアルについて

このマニュアルは、製品の機能と操作方法の情報が含まれます。重要な情報を見落とすことのないよう、マニュアルは全体を通してお読みください。

接続を完了する前に機器を操作しないでください。まず、「2.3接続」の項で説明しているように外部機器に接続してください。以降のセクションでは、「2.3接続」の項を理解し、すべての接続が行われていると仮定しています。

本マニュアルはPDF形式でのみ配布されており、TCエレクトロニックのウェブサイトからダウンロードできます。各ページ本マニュアルの内容は、予告なく改訂されることがあります。マニュアルの最新版をダウンロードするには、TCエレクトロニックのウェブサイトをご参照ください。

tcelectronic.com/support/manuals

2 はじめに

Quintessence Harmonizerは、表現力豊かなMASH技術と強力なTonePrint®カスタマイズ機能を備えた最先端のインテリジェントハーモナイザーです。

Quintessenceは、いろんなジャンルの音楽（カントリーやサザン・ロックのハーモニーからThin Lizzyのようなツインリフやスクリーミング・メタルのリード）のスタイルに合わせ、さまざまなモードとスケールのハーモニーを生成し、プレイヤーの独創性をカバーできます。

2.3 接続

- ▶ ペダルに次の仕様の9Vパワーサプライを接続します。



本製品にパワーサプライは付属しませんので、ご注意ください。別売オプションのTC Electronic Powerplug 9を推奨します。パワーサプライが手元がない場合にはバッテリー駆動も可能です。電池交換の詳細については、「電池の交換」をご参照ください。パワーサプライをコンセントに接続します。

- ▶ 楽器からペダル右側のインプット・ジャックに楽器用¼"標準フォンケーブルを接続します
- ▶ ペダル左側のアウトプット・ジャックから次のエフェクターまたはアンプに楽器用¼"標準ケーブルを接続します。

2.1 セット内容

製品パッケージに次のアイテムが含まれていることをご確認ください。

- ▶ エフェクト・ペダル本体 x 1
- ▶ USBケーブル
- ▶ TCエレクトロニック・ステッカー x 1

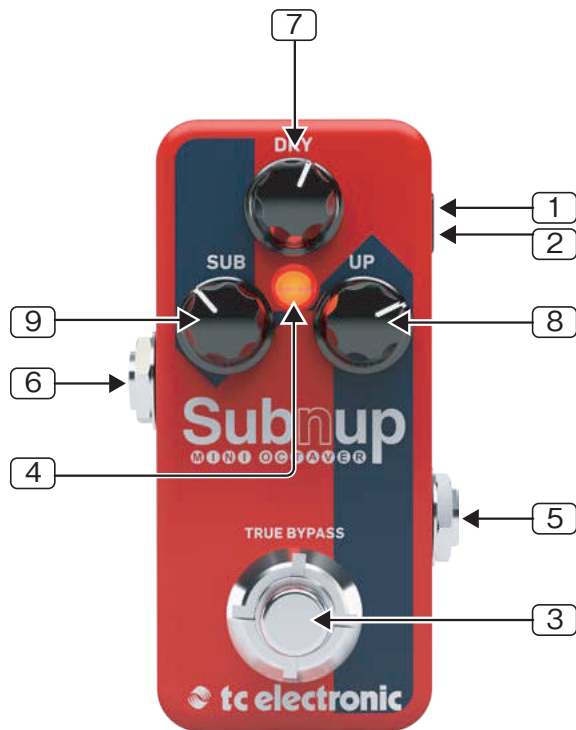
搬送時の破損がないことを確認します。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元にご連絡ください。製品の外箱と梱包材は保存しておいてください。万一搬送時に破損が生じた場合の証明として必要となることがあります。

2.2 トウルーバイパス

TCはシンプルな音に対する信念を持っています。TC製品を使用している間のサウンドは素晴らしいべきで、使っていない時にはその機材の「音」は一切聞こえるべきではない、と考えます。本ペダルはトウルー・バイパス仕様で、ペダルのバイパス時にもトーンに影響を与えません。

3

インプット／アウトプット／コントロール類



3.1 電源とコンピューターとの接続

1 電源入力端子

ペダルの電源をオンにするには、本体のパワー・イン・ソケットにパワーサプライを接続します。電源のコネクターは、標準的なセンターマイナスの5.5/2.1 mm DCプラグです。100 mA以上の容量を供給できる9Vパワーサプライが別途必要です。TC Electronic PowerPlug 9の使用を推奨します。ハムノイズ対策の観点から、パワーサプライは出力がそれぞれアイソレートされているものをご使用ください。パワーサプライが手元がない場合は、本製品をバッテリーで駆動できます。電池交換の詳細については、「電池の交換」をご参照ください。

2 USBポート

TonePrint設定を転送するためのMini-B USB端子です。TonePrint EditorからアーティストTonePrintを転送、または自作のTonePrintを転送できます。詳細は、「TonePrint」セクションをご参照ください。また、本機用のソフトウェア・アップデートがリリースされた場合は、アップデート作業にこのポートを使用します。詳細は、「ファームウェアのアップデート」セクションをご参照ください。

3.2 スイッチ

3 フットスイッチ

エフェクトをオンにするには、フットスイッチをタップします。エフェクトをオフにするには、フットスイッチを再度タップします。

4 LEDインジケーター

エフェクトがオンになると、LEDが点灯します。

3.3 オーディオ・インプット&アウトプット

オーディオ・インプット (モノラル)

ペダル右側のインプット・ジャックは、モノラル/TSの標準1/4"ジャックです。

- ▶ 楽器とペダルの右側のインプット・ジャックを1/4"の標準楽器用ケーブルで接続します。

オーディオ・アウトプット (モノラル)

ペダル左側のアウトプット・ジャックは、モノラル/TSの標準1/4"ジャックです。

- ▶ ペダル左側のアウトプット・ジャックから次のエフェクターまたはアンプに1/4"の標準楽器用ケーブルで接続します。

3.4 エフェクトコントロール

各ノブの機能は、あくまでもデフォルトの割り当てのものです。TonePrint Editor から、ノブを別のパラメーター、またはパラメーターの組み合わせに割り当てることができます。詳細は、TonePrint Editor マニュアルをご参照ください。

各ノブの機能は、あくまでもデフォルトの割り当てのものです。

シンプルさと使いやすさを重視した、オクターブノブにより簡単に操作でき、オールドスクールなモノフォニック・オクターバーの再現や、モダンなサウンドが好みであれば、ポリフォニック・オクターブ・アルゴリズムが、あなたのコードやハーモニーの全てのノートを検出して、質の高いオクターブ効果を提供します。

7 ドライノブ

ドライ・シグナル (原音) のレベルを調整します。高めに設定することでオクターブ・サウンドに埋もれないコアトーンを維持することができ、低めに設定するとオクターブ・サウンドがエンハンスされ、オルガンのような効果が得られます。

8 アップノブ

1オクターブ上のサウンドのミックス・レベルを調整します。

9 SUBノブ

1オクターブ下のサウンドのミックス・レベルを調整します。

Sub 'N' Up Miniは、兄貴分であるSub 'N' Upの機能であるモードスイッチは備わっていませんが、TonePrintを使用することで、下記の2つのモードを切り変えることができます。

▶ POLY モード

コードなどのポリフォニック・トラッキングを可能にします。このモードでは、SUB 'N' UP OCTAVERは最も複雑なジャズコードを扱い、偽の12弦ギターからオルガンのような音まであらゆる種類のクールなサウンドを提供します。

▶ CLASSIC モード

クラシカルな単音オクターブ奏法に最適な「CLASSIC」モード。この設定では、古典的なアナログストンプボックスのオクターブのような暖かいエフェクトが得られます。このモードでコードを演奏すると、美しくも不思議なサウンドを演出します。

4 TonePrint

本製品は、TonePrintに対応しています。TonePrintについての詳細は、次のURLをご参照ください。
tcelectronic.com/toneprint/

4.1 TonePrintとは？

TCエレクトロニック TonePrint対応ペダルは多数の内部パラメーターで構成され、本体のノブは、内部パラメーターの設定を様々な割り当てや組み合わせで変更しています。TonePrintでは、エフェクトアルゴリズムの内部チューニングを変更したり、ノブの機能を「再定義」することができます。

シグネチャー・サウンド

通常のノブ操作で得られる音の変化は、TCエレクトロニックの開発者・ミュージシャン・製品スペシャリストたちが作り上げた、バランスと高品位サウンド重視の標準的なセッティングとなります。もし、世界中のトップ・プレイヤーにこの内部チューニングを一任したらどうなるでしょう。そして、自分でエフェクトそのものをチューニングできる自由を手に出したら...

TonePrintは、この夢のような機能を実現します。

Paul Gilbert、Guthrie Govan、John Petrucci、Steve Vaiをはじめとした世界の名だたるトッププレイヤーによって作られたTonePrintの数々は、ペダルに隠された無限とも言えるポテンシャルを掘り起こします。TCはこれらのTonePrintを一般公開しており、ユーザーは簡単に設定を製品本体にアップロードできます（「TonePrintアプリを使ったTonePrintセッティングの転送」セクション参照）。また、TonePrint Editorを使えば、ユーザー自らの手で自分のシグネチャー・エフェクトの作成が可能となります。

4.2 TonePrintアプリを使ったTonePrintセッティングの転送

TonePrintセッティングをペダルに転送するには、スマホ用TonePrintアプリを使用します。ペダルの設定変更には特殊な機材を別途用意する必要なく、TonePrintをペダルに「ビーム」転送できます。

スマートフォン用TonePrintアプリの入手方法

iPhone用

TonePrintアプリはApple社App Storeからダウンロードできます。

Android用

TonePrintアプリはGoogle Playからダウンロードできます。

アプリ以外の追加ダウンロードは必要なく、アプリ内課金はありません。アプリから、無償で全てのTonePrintに直接アクセスできます。

TonePrintセッティングの転送 - 操作手順

- ▶ スマートフォンのTonePrintアプリを起動します。
- ▶ TonePrintを選びます。
- ▶ アーティスト、または製品（ペダルの種類）別にブラウズできます。おすすめのTonePrintも表示されます。
- ▶ TonePrintペダルにギターまたはベースを接続します。
- ▶ TonePrintペダルをオンにします。
- ▶ 楽器を1ピックアップの設定にして、ボリュームを上げます。
- ▶ スマートフォンのスピーカーを使用ピックアップに向けて近づけ、「Beam to pedal」をタッチします。

4.3 TonePrint EditorによるTonePrintの作成

既述の通り、スマートフォン用TonePrintアプリは著名ギタリストやベーシストによるTonePrintの転送に使用します。TonePrint Editorは、そのコンセプトを一歩突き進め、ユーザー自らの手で自分のシグネチャー・エフェクトの作成を可能とします。

TonePrint Editorの主な特徴

- ▶ カスタム・バージョンのTCエフェクトを一から作成可能
- ▶ 全てのエフェクト・パラメーターとエフェクトの作用をコントロール可能
- ▶ ノブの機能とレンジをカスタマイズ可能設定はリアルタイムで確認可能
- ▶ PC/Mac対応
- ▶ 無償

TonePrint Editorの入手方法

Windows/OS X版TonePrint EditorのダウンロードURLは次の通りです。
tcelectronic.com/toneprint-editor/

Apple iPad用

TonePrint Editorは、AppleのApp Storeからダウンロードできます。常に最新バージョンをご使用いただくことをお勧めいたします。

TonePrint Editorマニュアルの入手方法

TonePrint Editorマニュアルは次のURLからダウンロードできます。
tcelectronic.com/toneprint-editor/support/

4.4 TonePrint搭載ペダルに関するよくあるご質問

Q.TonePrint搭載ペダルはアナログですか？デジタルですか？

A.TonePrint搭載ペダルはあなたのギターのドライビングナルを、一切デジタル化せずにエフェクト効果を追加します。

Q.TonePrint搭載ペダルはTonePrintペダルは、バランス/アンバランスのインプット/アウトプットを搭載していますか？

A.TonePrint搭載ペダルはアンバランス端子を採用しています。接続には1/4"モノラル標準フォンケーブルをご使用ください。

Q.TonePrint搭載ペダルをアンプのFXループに繋いで使用できますか？

A.TonePrint搭載ペダルは非常に広いゲイン幅を持ち、FXループにも手軽に使用できます。一部のアンプでは、通常の+4dBuのライン・レベル信号より高いレベルでFXループが設定されていることがあり、そのアンプでは音がクリップする事があるかもしれません。

その他の質問に関しましてはTC Electronicのサポートページを御覧ください。

tcelectronic.com/support/

4.5 TonePrintに関するリンク

- ▶ **TonePrint**
tcelectronic.com/toneprint/
- ▶ **TonePrint製品**
tcelectronic.com/toneprint/ toneprint-products/
- ▶ **TonePrint app**
tcelectronic.com/toneprint-app/
- ▶ **TonePrint Editor**
tcelectronic.com/toneprint-editor/
- ▶ **TonePrint Editor マニュアル**
tcelectronic.com/toneprint-editor/support/

4.5 TonePrintに関するリンク

- ▶ **TonePrint**
tcelectronic.com/toneprint/
- ▶ **TonePrint製品**
tcelectronic.com/toneprint/ toneprint-products/
- ▶ **TonePrint app**
tcelectronic.com/toneprint-app/
- ▶ **TonePrint Editor**
tcelectronic.com/toneprint-editor/
- ▶ **TonePrint Editor マニュアル**
tcelectronic.com/toneprint-editor/support/

5 バイパス・モード

5.1 トゥルー・バイパスとバッファード・バイパス

トゥルーバイパスについて

ハードウェア的にバイパスを行い、ペダルをバイパスした際に信号に一切影響を与えません。本ペダルの工場出荷時には、この設定になっています。少数のペダルを使用していて、ペダルの前後の配線も短距離の場合に適しています。

バッファードバイパスについて

以下のような場合はシグナルパス上の最初と最後のペダルのバッファを有効にすることで最善のパフォーマンスが得られます。

- ▶ ギターから一つ目のペダルまでに長いケーブルを使用する
- ▶ 多くのペダルを使用する
- ▶ エフェクトボードからアンプまでに長いケーブルを使用する

トゥルー・バイパスとバッファード・バイパスの違いが聞き分けられるかというのは、数え切れない要素が絡みます。アクティブとパッシブ・ピックアップ、シングル・コイルとハムバッカー、ケーブルのクオリティー、アンプのインピーダンス等、セットアップ全体の多くの要素が様々な形で相互に影響を与え合うため、一律な答えは存在せず、状況によって聞き分けられる場合もそうでない場合も存在します。一番頼りになるのは自分の耳となりますので、ご使用のセットアップに適した設定を探し当ててください。

5.2 バイパスモードの切り替え

ケーブル類を外し、本体を裏返します。バックプレートのネジを外すと、左上の角に小さいDIPスイッチが2つ見えます。上のDIPスイッチ（DC 9Vコネクタに近い方）は、トゥルー・バイパス（デフォルト設定）とバッファード・バイパスの切替スイッチです。DIPスイッチのポジションを変えることで、バイパス・モードが切り替わります。バックプレートを戻します。なお本製品のバックプレートを外すには「T10トルクスレンチ」が別途必要となります。

6 メンテナンス

6.1 ファームウェアアップデート

TCは、製品のファームウェア・アップデートを公開することがあります。TCペダル製品のファームウェアをアップデートするには、WindowsまたはOS Xを搭載したUSB対応パソコンと、ペダル用のDCパワーサプライが必要です。

ファームウェア・アップデートの準備

- ▶ ファームウェア・アップデート用のファイルは、TCウェブサイトの該当製品ページの「サポート」セクションからアクセスできます。
 - ▶ Windows版はzipアーカイブ形式で供給されます。
 - ▶ OS X版は、ファームウェア・インストーラーを含むディスクイメージファイル形式で供給されます。
- ▶ ペダルから、パワーサプライを含む全てのケーブルを外します。
- ▶ ペダルとコンピューターをUSB接続します。
- ▶ TCペダル製品の一番左のフットスイッチをホールド（長押し）します。フットスイッチを長押ししたまま、電源ケーブルを接続します。
- ▶ ペダルのペダルの一番左側のLEDが緑に点灯するはずですが、これは、ペダルがソフトウェア・アップデートを受け付ける準備ができていることを示します。
- ▶ フットスイッチを離します。
- ▶ これで、TCペダルがアップデート可能な状態になります。

ファームウェア・アップデートの適用

- ▶ コンピューター側で、起動しているDAW等全てのMIDI関連アプリケーションを終了してから、ダウンロードしたペダルのファームウェア・アップdaterを起動します。
- ▶ STEP 1のヘッダの下に表示されるドロップダウン・リストから、アップデートするTCペダルを選択します。
- ▶ STEP 2の下に表示される「Update」ボタンが緑に表示されたら、クリックします。

ファームウェア・アップデートがTCペダルに転送されます。プログレスバーが100%に到達するのを待ちます。アップデート作業が完了したら、ペダルは自動的に再起動します。

6.2 電池の交換

電池交換の手順は次の通りです。

- ▶ ペダル裏側のネジを外して、バックプレートを外します。
- ▶ 古い電池を外してから、新しい電池を正しい極性で装着します。
- ▶ バックプレートを戻します。

留意点

- ▶ 電池を加熱／分解したり、火や水に投入することは絶対にしないでください。
- ▶ 充電用以外の電池は充電しないでください。
- ▶ 長期間ペダルを使用しない場合は電池を外してください。
- ▶ 電池を廃棄する際は、法規や条例に従ってください

7 リンク

サポート

- ▶ TC Electronicサポート
<https://www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/support>
- ▶ TC Electronic – 製品ソフトウェア
<https://www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/free-software>
- ▶ TC Electronic – 製品マニュアル
<https://www.tcelectronic.com/Categories/c/Tcelectronic/Downloads>
- ▶ TC Electronic -ユーザー・フォーラム
<http://forum.tcelectronic.com/>

TCエレクトロニクス

- ▶ ウェブ
<https://www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/home>
- ▶ Facebook:
<https://www.facebook.com/tcelectronic>
- ▶ Google Plus:
<https://plus.google.com/+tcelectronic>
- ▶ Twitter:
<https://twitter.com/tcelectronic>
- ▶ YouTube:
<https://www.youtube.com/user/tcelectronic>

9 仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。

バイパスモード	トゥルー・バイパス (バッファ・バイパス選択可)
入力コネクタ	標準1/4"ジャック-モノラル/TS x 1
入力インピーダンス	1 M Ω
出力コネクタ	標準1/4"ジャック-モノラル/TS x 1
出力インピーダンス	100 Ω
電源	標準9 V DC、センターマイナス、>300 mA (パワーサプライ別売)
バッテリー・オプション	標準9 V (別売)
USBポート	Mini USBコネクタ (カスタムTonePrintのエディット/ アップロード、及びソフトウェア・アップデート用)
寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	93 x 48 x 48 mm (3.7 x 1.9 x 1.9")

FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION COMPLIANCE INFORMATION



Responsible Party Name: **Music Group Services NV Inc.**

Address: **5270 Procyon Street
Las Vegas, NV 89118
USA**

Phone Number: **+1 702 800 8290**

SUB 'N' UP MINI OCTAVER

EMC/EMI This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B Digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in residential installations.

This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.

For customers in Canada This Class B digital apparatus complies with Canadian CAN ICES-3B.

